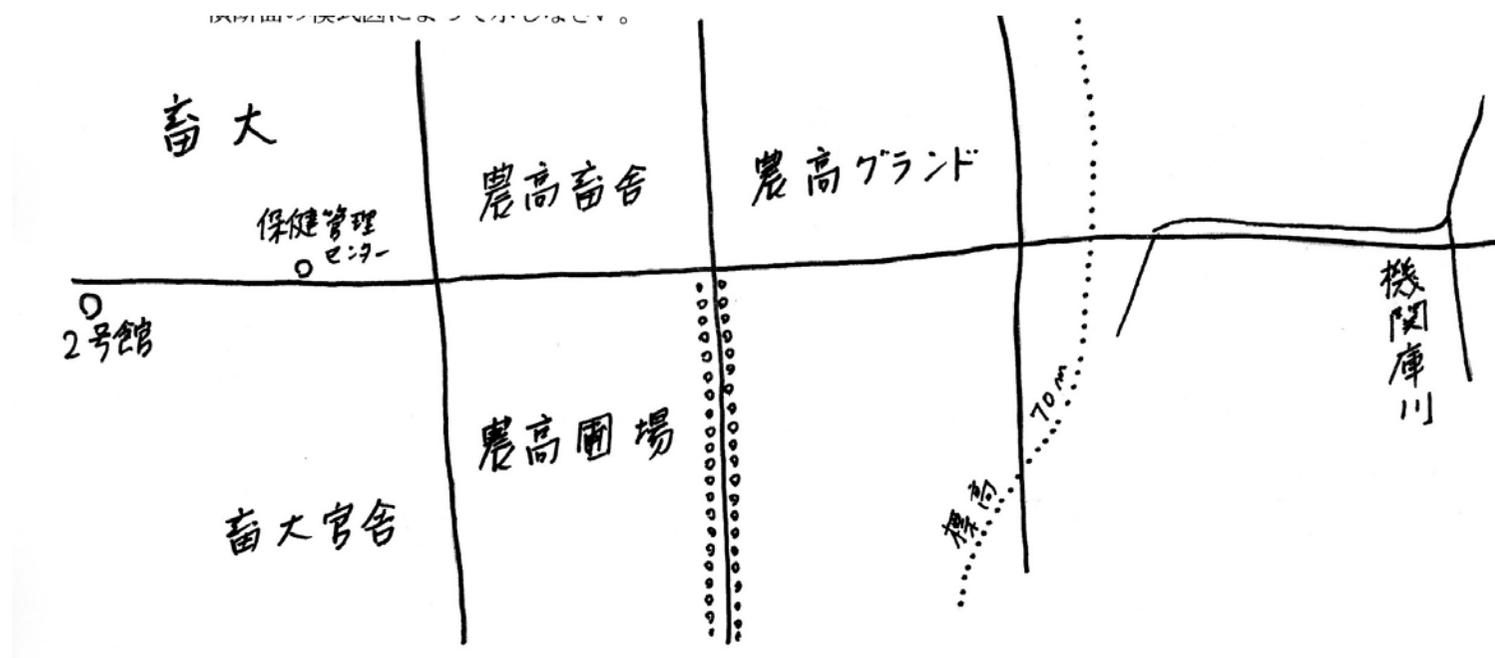


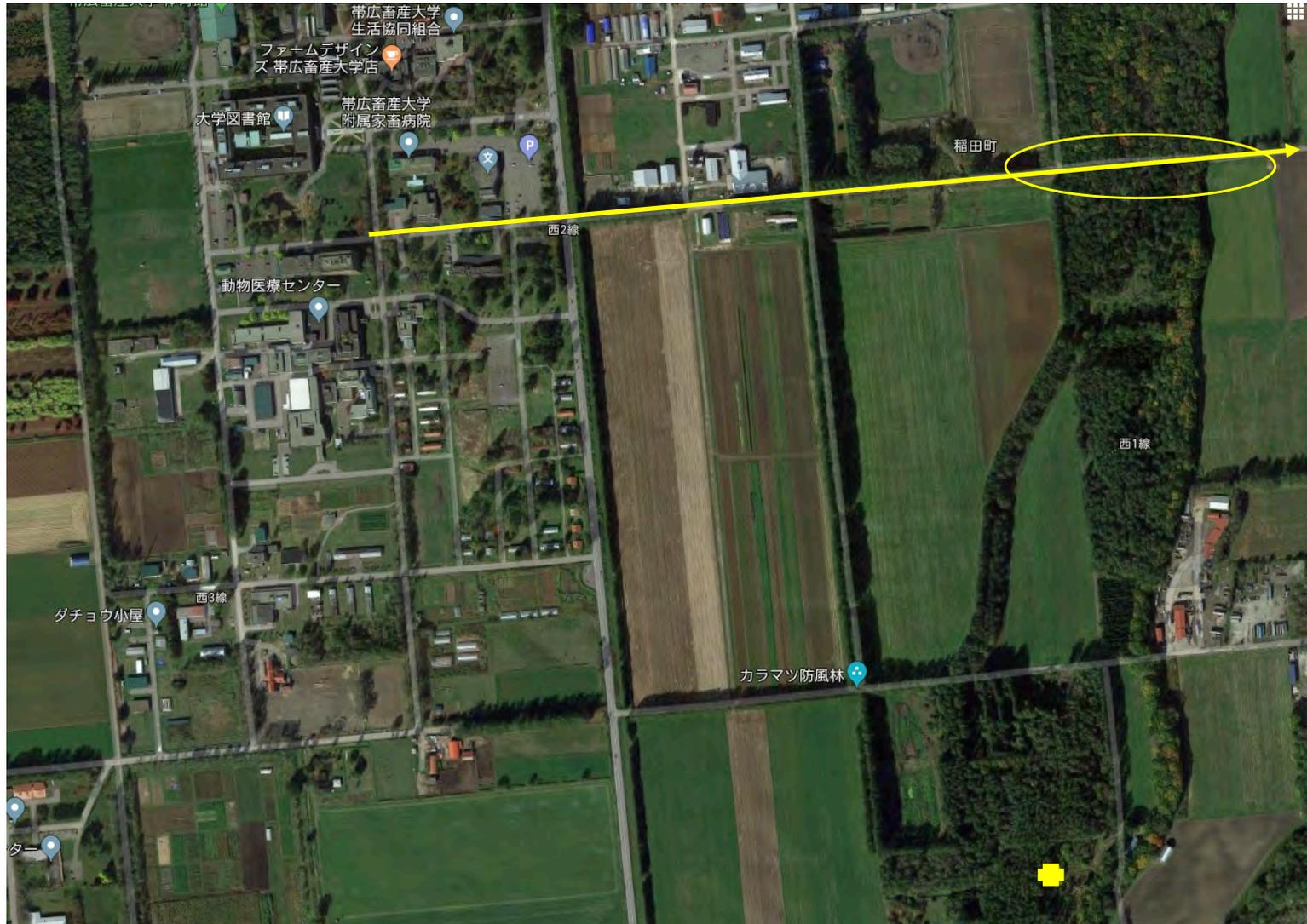
土壤作物栄養学実習

段丘地形の観察

帯広畜産大学から農業高校圃場を
経由し、段丘崖を観察し、低地ま
で歩く。



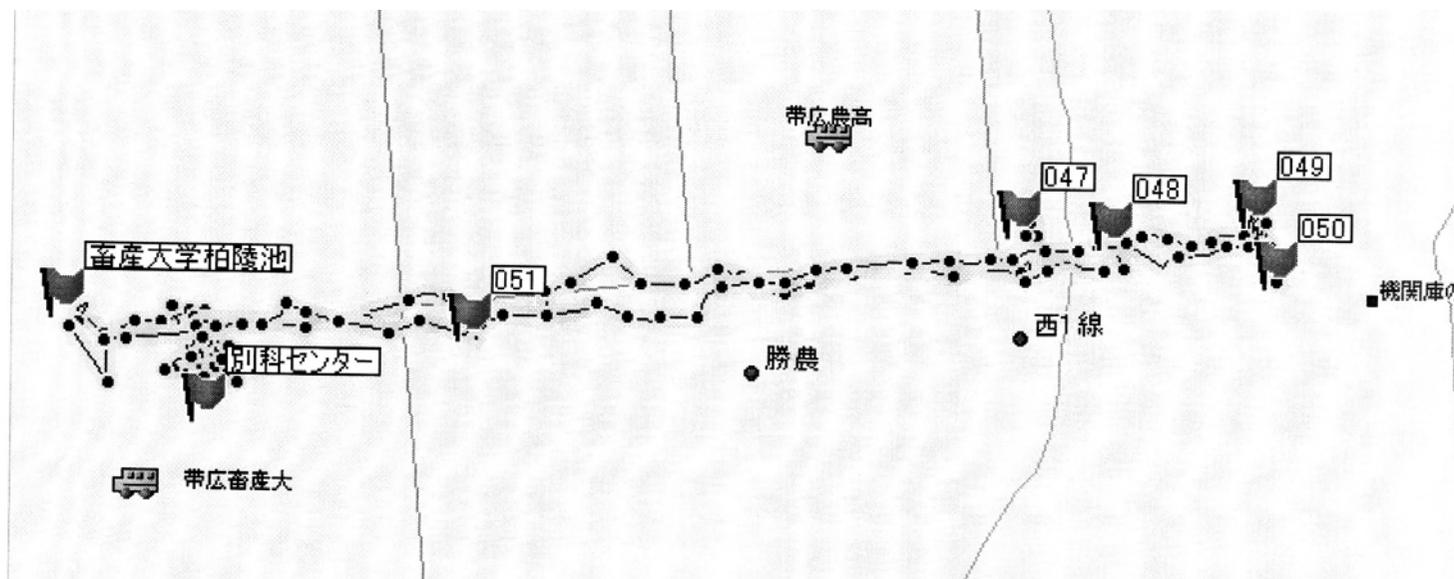
上の楕円の部分で中位段丘と低位段丘の森林を観察。下の黄色い点は土壌断面を観察した所。



段丘面による植生の違い

中位段丘面	低位段丘面
カシワ	ヤチハンノキ
ミズナラ	シラカバ
エゾミヤコザサ	フッキソウ
	オオバナノエンレイソウ
	オオウバユリ

GPS ルート記録



観察記録事項

- 土地利用
- 植生（特に段丘面と乾湿との関係に注意する）
- 検土杖による主な土壌層位の厚さと色
- 緯度・経度・標高

中位段丘上の帯広農業高校の圃場

2020.5.17



農高圃場（前ページ）の写真の説明

- 左上：農業高校の圃場。今年はCovid-19の影響のためか、実習圃場に作物がありません。
- 地形は波打っており、小高い中央部は「古砂丘地形」と呼ばれています。
- 左下：東へ向かう道路。カラマツとシラカバ。シラカバの木が皆曲がっているのは何故？
- 右上と右下：南北のカラマツ並木。近頃少なくなっているが、貴重な防風林。

中位段丘上の乾性林

2020.5.17



乾性林（前ページ）の写真の説明

- カシワ、ミズナラ等を主体とする乾性林。
- 林床はエゾミヤコザサ。
- 右下は東へ向かって下る坂道。
- 坂道の南側は植林された人工林。
- 地形としては、中位段丘の端に当たります。

低位段丘上の湿地林

2020.5.17



湿地林（前ページ）の写真の説明

- 坂の中段には湿地林があります。
- 湿った土地を好む樹木や草本類が生育しています。
- 地形としては低位段丘に当たります。

低位段丘上から低地面に降りる途中の坂道の脇 2020.5.17



坂道脇の写真の説明

- 段丘の切れ目にある崖を、段丘崖といいます。
- 低位段丘の下部分からはいつも水が浸み出し
ているので、坂道の表面は湿っています。
- 坂道の両脇にも、湿った土地を好む植物が生え
ています。
- 左上：ユリワサビ、右上：ニリンソウ、
- 左下：エンコウソウ、右下：アキタブキ

低地面の樹木と段丘崖

2020.5.17



低地面の写真の説明

- 左上と右上：小川沿いにはヤナギ、ヤチダモ、エゾニワトコなどが生えています。
- 小川の中にはエンコウソウが生えています。
- 左下：草地から段丘崖を見たところ。段丘崖には自然の樹木が残っており、水はけが良かったため、主にカシワやミズナラです。
- 段丘崖の下も小川が流れています。上の段丘から浸み出した水を集めて流れています。
- 右下：低地面から坂道を見上げたところ。坂道の中ほどが濡れています。

課題：

- 上記の道を歩いてみて、地形面ごとに、植物の種類などで気づいたことを書きなさい。
- 上記の道に行けない場合は、段丘が観察できる緑ヶ丘などの他の地点でも良い。
- 安全上、一人で行動しないで、「密」を避けながら、複数の人で行くことを勧めます。
- 1ヶ月後の6月28日（日）までに、筒木宛に送信してください。
- 送り先は； kiyosi.tutuki@icloud.com